【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年8月4日(2022.8.4)

【公開番号】特開2021-23372(P2021-23372A)
【公開日】令和3年2月22日(2021.2.22)
【年通号数】公開・登録公報2021-009
【出願番号】特願2019-140905(P2019-140905)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ
Ａ６３Ｆ　7/02　３１５Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和4年7月27日(2022.7.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定条件の成立に基づいて取得された取得情報を記憶可能な取得情報記憶手段と、
前記取得情報に基づいて当否判定を実行可能な当否判定手段と、
前記当否判定の結果が第１特定結果となったことに基づいて第１特別遊技を実行可能な第１特別遊技実行手段と、
前記当否判定の結果が第２特定結果となったことに基づいて第２特別遊技を実行可能な第２特別遊技実行手段と、
遊技状態を制御可能な遊技状態制御手段と、
所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、
前記第１特別遊技は、所定量の遊技利益を遊技者に付与可能な遊技であり、
前記第２特別遊技は、前記第１特別遊技よりも少ない量の遊技利益を遊技者に付与可能な遊技であり、
前記遊技状態制御手段は、前記第１特別遊技の終了後の遊技状態を非特定遊技状態に制御する場合と特定遊技状態に制御する場合とがあり、
前記特定遊技状態は、前記非特定遊技状態に比べ前記第２特別遊技の実行頻度が高い遊技状態であり、
前記当否判定で前記取得情報が所定の第１情報であると判定されると、前記当否判定の結果が前記第１特定結果となり、
前記演出実行手段は、
前記特定遊技状態にて前記第２特別遊技が複数回連続的に実行される場合に所定演出を実行可能であり、
前記特定遊技状態にて前記第２特別遊技が複数回連続的に実行されるときに、前記第１情報であると判定される取得情報が前記取得情報記憶手段に記憶されている場合、前記所定演出を実行しないことがある
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
手段１の遊技機は、
所定条件の成立に基づいて取得された取得情報を記憶可能な取得情報記憶手段と、
前記取得情報に基づいて当否判定を実行可能な当否判定手段と、
前記当否判定の結果が第１特定結果となったことに基づいて第１特別遊技を実行可能な第１特別遊技実行手段と、
前記当否判定の結果が第２特定結果となったことに基づいて第２特別遊技を実行可能な第２特別遊技実行手段と、
遊技状態を制御可能な遊技状態制御手段と、
所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、
前記第１特別遊技は、所定量の遊技利益を遊技者に付与可能な遊技であり、
前記第２特別遊技は、前記第１特別遊技よりも少ない量の遊技利益を遊技者に付与可能な遊技であり、
前記遊技状態制御手段は、前記第１特別遊技の終了後の遊技状態を非特定遊技状態に制御する場合と特定遊技状態に制御する場合とがあり、
前記特定遊技状態は、前記非特定遊技状態に比べ前記第２特別遊技の実行頻度が高い遊技状態であり、
前記当否判定で前記取得情報が所定の第１情報であると判定されると、前記当否判定の結果が前記第１特定結果となり、
前記演出実行手段は、
前記特定遊技状態にて前記第２特別遊技が複数回連続的に実行される場合に所定演出を実行可能であり、
前記特定遊技状態にて前記第２特別遊技が複数回連続的に実行されるときに、前記第１情報であると判定される取得情報が前記取得情報記憶手段に記憶されている場合、前記所定演出を実行しないことがある
ことを要旨とする。